

ご存じですか！文化財

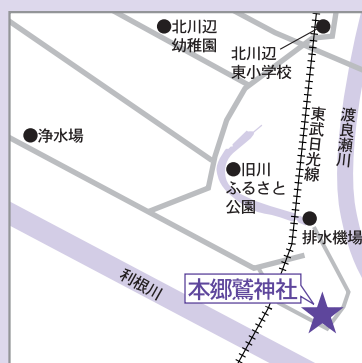
24

「板絵着色利根川 ケレープ工事図」

市指定重要文化財
昭和52年3月16日指定



問合せ
北川辺教育事務所
(☎0280・62・1710)



所在地 本郷747-14

今回ご紹介する文化財は、明治16(1883)年、本郷村の有力者によって、本郷鷺神社に奉納された大型の絵馬です。

ケレープ水制工事とは、低水時の流路を狭めることにより低水路を確保し、船の運航を円滑にすることを目的としています。

明治初期にオランダから導入された技術で、国家的事業として大河川で積極的に行われました。

この絵馬には、この工事の施行過程が左から右へ三段階に図示されています。また、紅白の内務省旗を掲げた官船が工事を監督している様子も描かれています。

もう一つ目を引くのは、工事船

とは別に帆を張った高瀬舟や運航され始めたばかりの外輪蒸気船通運丸が描かれていて、当時、隆盛だった利根川の河川交通の様子をうかがい知ることができます。

本郷村は江戸初期の利根川の瀬替えによって、渡良瀬川と利根川の合流点西部に拓けた古村で、かつては渡しもあり、河川交通の要衝でした。大正期の渡良瀬川改修、また、カスリーン台風後の引き堤工事により、その村の様子は大きく変わりましたが、繁栄の名残は、本郷鷺神社境内毘沙門堂や金毘羅堂に安置されている数々の仏像にも見ることができます。



本郷鷺神社と神社に奉納された「板絵着色利根川ケレープ工事図」の絵馬



紹介者 山崎 繁雄さん(駒場)